

# 社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	神奈川県内におけるうるおいとやすらぎのある水辺づくり			重点配分対象の該当
計画の期間	平成25年度～平成29年度（5年間）	交付対象	神奈川県	
計画の目標				

きれいになりつつある水質を活かし、沿川で計画されている地域のまちづくりと連携して、地域の歴史・文化・生活と密接に結び付いた魅力的な河川空間を生み出し、うるおいとやすらぎのある親水空間や防災機能の創出など人や自然にやさしい水辺づくりを目指す。

計画の成果目標（定量的指標）  
 ・沿川で計画されている地域のまちづくりと連携して河川利用上の安全・安心に係る河川管理施設の整備を行う。（H25当初：3箇所 → H29末：4箇所）

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 (H25当初)	中間目標値 (H27末)	最終目標値 (H29末)	
沿川で計画されている地域のまちづくりと連携して整備する河川利用上の安全・安心に係る河川管理施設数	3 箇所	-	4 箇所	

全体事業費	合計 (A+B+C+D)	200 百万円	A	200 百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	D	0 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0.0%
-------	-----------------	------------	---	------------	---	----------	---	----------	---	----------	-----------------------------	------

## 事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
	令和2年12月
神奈川県内部で事後評価を実施	公表の方法
	県のホームページに掲載

### 1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業															
A 基幹事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H25	H26	H27	H28	H29		
A1-200	河川	一般	神奈川県	直接	神奈川県	大岡川統合河川環境整備事業	N=9箇所 護岸	横浜市						200	
合計													200		
B 関連社会資本整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H25	H26	H27	H28	H29		
合計															
C 効果促進事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H25	H26	H27	H28	H29		
合計															
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H25	H26	H27	H28	H29		
合計															

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		沿川で計画されている地域のまちづくりと連携して河川利用上の安全・安心に係る河川管理施設を整備することで、うるおいとやすらぎのある親水空間や防災機能の創出など人や自然にやさしい水辺づくりを推進した。			
II 目標値の達成状況	指標①（河川利用上の安全・安心に係る河川管理施設数）	最終目標値	4箇所	目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値	4箇所		
		最終目標値		目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値			
		最終目標値		目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値			
		最終目標値		目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値			
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)		整備された河川管理施設は、安全・安心な河川利用を促すだけでなく、地域のイベントや日常的に利用されているなど、地域の賑わいを創出しており、着実にストック効果の発揮している。また、水上交通の拠点としての役割も担い、大岡川水系全体の回遊性の向上が期待される。			
3. 特記事項（今後の方針等）					
本計画終了後も引き続き社会資本整備総合交付金を活用し、まちづくりと連携した河川管理施設の整備を進めることで、より一層大岡川水系全体の地域の賑わいや回遊性を高め、防災機能を兼ね備えたうるおいとやすらぎのある親水空間の創出など人や自然にやさしい水辺づくりを推進する。					

(参考図面)

計画の名称	神奈川県内におけるうらおいとやすらぎのある水辺づくり		
計画の期間	平成25年度 ～ 平成29年度 (5年間)	交付対象	神奈川県

